

# 歴史を物語る水道施設 ～文化財としての水道施設～

呉市上下水道局

問 経営企画課  
☎ 26-1604



呉市の水道は、旧海軍の施設を受け継いだものが多くあります。中でも本庄水源地堰堤水道施設は、現在も稼働する水道施設として高い評価を受け、国の重要文化財に指定されています。そのほかにも、国の登録有形文化財や日本遺産を構成する貴重な水道施設が存在します。これらの歴史ある水道施設を紹介します。

## 国の重要文化財

### 本庄水源地堰堤(えんてい)水道施設



- 完成 大正7年2月
- 所在地 焼山北3丁目
- 堰堤構造 重力式コンクリート造り  
長さ97m、幅3.64m、高さ25m
- 構成施設 堰堤、丸井戸、階段、第一量水井  
(桜の開花時期のみ一般開放。詳しくは23ページで)

呉市の水道は、海軍専用施設であった本庄水源地の水を分けてもらい、大正7年4月、市が築造した平原浄水場から給水が始まりました。平原浄水場は老朽化が進んだため平成24年度で廃止し、現在は宮原浄水場が市内唯一の浄水場です。

こちらもチェックしてクレ！  
8ページ日本遺産「物語の舞台をたずねて」で詳しく紹介しています。



## 国の登録有形文化財

### 二河水源地取入口



- 完成 明治22年9月
- 所在地 大字荘山田村

### 平原浄水場低区配水池



- 完成 大正6年12月
- 所在地 平原町  
(一般公開はしていません)

二河水源地取入口は、呉の地に初めて完成した近代水道施設で、宮原浄水場へ送水し、海軍専用水道として明治23年に給水を開始しました。その後、水の需要の増加に対応するため、本庄水源地堰堤を含む一大貯水池への築造につながっていきます(これらは戦後に市が譲り受けています。平原浄水場低区配水池と三永水源地堰堤は、市が築造しました)。

### 宮原浄水場低区配水池



- 完成 明治23年3月
- 所在地 青山町  
(一般公開はしていません)

### 三永水源地堰堤



- 完成 昭和18年2月
- 所在地 東広島市西条町下三永  
(桜・フジの開花時期のみ一般開放。詳しくは23ページで)